

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしや したら		団体ウェブサイトURL
制作団体名	有限会社 志多ら		https://www.shidara.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 大脇 聡		
制作団体所在地	〒 449-0203	最寄り駅(バス停)	とうえい温泉前
	愛知県北設楽郡東栄町大字東菌目字中林30		
電話番号	0536-76-1708		
ふりがな	わだいこ したら		団体ウェブサイトURL
公演団体名	和太鼓 志多ら		https://www.shidara.co.jp
代表者職・氏名	演奏リーダー 鬼頭 孝幸		
公演団体所在地	〒 制作団体と同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体と同じ
	制作団体と同じ		
制作団体 設立年月	1989年1月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 大脇聡 取締役 加納千里	代表:1名 総務:3名 広報:1名 制作:1名	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	和田 健吾
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	加納 千里

<p>制作団体沿革</p>	<p>【有限会社 志多ら】 1989年 結成 1990年 本拠地を愛知県北設楽郡東栄町に移す 1994年 東栄町東蘭目の国の重要無形民俗文化財・花祭に「志多ら舞」を奉納 第1回東京国際和太鼓コンテストにて最優秀賞を受賞(組太鼓部門一般の部) 2006年 「ライブ祭来」ツアーを全国で実施 2010年 アメリカツアーをアメリカ全土で実施 2022年 全国ツアー「響奏」「郷唄」「和気あいあい」を実施中 【和太鼓 志多ら 受賞歴】 2002年 愛知県特殊教育推進連盟より表彰 2010年 豊橋市文化奨励賞受賞 2012年 奥三河観光協議会より、「奥三河ふるさと観光大使」に任命される 2015年 愛知県芸術文化選奨文化賞受賞</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成6年より学校公演の実績あり 累計1100公演 平成30年度 「生命の力を、音に」 34カ所(自主公演) 平成31年度 「生命の力を、音に」 55カ所(自主公演) 令和 2年度 「生命の力を、音に」 実施16カ所・コロナの影響で延期、中止15カ所(自主公演) 令和 3年度 「生命の力を、音に」 実施13カ所・コロナの影響で延期、中止11カ所(自主公演)</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成30年度 愛知県立豊橋豊学校に「元気だ！ワッショイ！」の楽曲を提供し、太鼓指導を実施した 「生命の力を、音に」 中濃特別支援学校 芸術鑑賞会実施 平成31年度 「生命の力を、音に」 守山養護学校、くすのき特別支援学校 芸術鑑賞会実施</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/OHnT_ZriIV8</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>	
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 和太鼓 志多ら 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	「日本一迫力のある授業」観て、聴いて、触って学べる和太鼓の世界		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【プログラム・楽曲構成】</p> <p>M-1 ひので 作曲:大脇元(志多ら)</p> <p>M-2 チャラップアラップ 作曲:吉田章彦(志多ら)</p> <p>M-3 明神山 作曲:藍羽(志多ら)</p> <p>M-4 食いしん坊ゲーム(体験)</p> <p>休憩(10分)</p> <p>M-5 獅子舞 作曲:トラディショナル</p> <p>M-6 楽器紹介</p> <p>M-7 果てなき空 作曲:鬼頭孝幸(志多ら)</p> <p>M-8 神立風 作曲:鬼頭孝幸(志多ら)</p> <p>アンコール CHA CHA CHA 作曲:藍羽(志多ら)</p> <p>※アンコールは基本的に実施いたします。</p> <p>※M-4は体験です。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 プログラム内で使用する楽曲(著作権が志多ら及びその専属演奏家に帰属)
	該当事項がある場合	権利者名 JASRAC	許諾確認状況 採扱後手続き予定
演目概要	<p>M-1 ひので 日の出という希望に溢れる1日の始まりを表現した楽曲です。 担ぎ桶太鼓や後述のチャップなどの和楽器で演奏者が舞台を駆け回り、子どもたちと手拍子で盛り上がります。</p> <p>M-2 チャラップアラップ チャップと呼ばれる全国各地の芸能で使われる鳴り物の様々な奏法を用いて、特有の小気味の良い音色をお届けします。</p> <p>M-3 明神山 和太鼓志多らの活動拠点である東栄町にそびえる山が曲名になっており、日々の暮らしから感じることを曲にするという志多らの活動理念から、身近な自然をテーマに生まれた楽曲です。</p> <p>※M-4 食いしん坊ゲームについては体験の形態で記述します。</p> <p>休憩(10分)</p> <p>M-5 獅子舞 全国的に知名度の高い伝統芸能である獅子舞です。篠笛と和太鼓による祭囃子に合わせて、獅子が激しく舞い踊ります。</p> <p>M-6 楽器紹介 今回のプログラムで演奏する和楽器(長胴太鼓、附締め太鼓、桶胴太鼓、チャップ、篠笛)を、演奏者が様々なエピソードを交えて1つずつ紹介します。篠笛紹介の際には、子供たちの間で今話題のJPOP曲を篠笛で演奏します。</p> <p>M-7 果てなき空 果てしなく続く大空をイメージした楽曲です。 篠笛2管と和太鼓にて演奏いたします。</p> <p>M-8 神立風 風の如く激しく吹き荒れる風を表現した楽曲です。 中盤では大太鼓、終盤には篠笛も加わり、公演のラストを飾る迫力ある一曲です。</p> <p>アンコール CHA CHA CHA 複数の担ぎ桶太鼓で会場内を駆け巡りながら演奏する楽曲です。 曲の最後は、子どもたちに手拍子で参加していただき、公演を締めくくります。</p>		

<p>演目選択理由</p>	<p>M-1 ひので 初めて交流する生徒・児童の皆さんとのアイスブレイクとしての1曲目です。会場が盛り上がりやすいのりの楽曲を選択しております。</p> <p>M-2 チャラップラップ 和楽器は和太鼓だけではありません。普段目にしたことがないような楽器を主役にした楽曲で学びの充実を図ります。3曲目が和太鼓らしさを感じていただける重めの楽曲となるため、子供たちの注意を演奏者に集めることで集中力を高めていただく意味合いもあります。</p> <p>M-3 明神山 日々の生活の中で生み出される音楽を感じていただきたい。日本の自然などの郷土の景色を感じられる楽曲となっているので、情景と音楽の結びつきを学んでいただきます。</p> <p>※M-4 食いしん坊ゲームについては体験の形態で記述します。</p> <p>M-5 獅子舞 篠笛による「江戸囃子」に合わせて獅子が舞います。この江戸囃子はお正月になると街中でよく耳にする印象的なメロディーです。子供たちにもなじみのあるものかと思えます。また、和楽器という器そのものではなく、日本で最も盛んにおこなわれている民俗芸能である獅子舞という意味でもしっかりと鑑賞していただきたいです。</p> <p>M-6 楽器紹介 子供たちに「知識」としての学びの機会を持っていただきたく思います。今日の前にしている楽器が一体どういう目的で何から作られて今こうして演奏されているのかという背景を知っていただきます。</p> <p>M-7 果てなき空 ここまでは和太鼓が主役の演目が多かったですが、この曲では篠笛が主役になります。主題を入れ替えての表現の工夫がありますので、子供たちにも和楽器の音楽表現の可能性を肌で感じていただきたいと考えております。</p> <p>M-8 神立風 最後の演目(アンコールを除く)として、今日という機会を記憶に残る時間にしていただくため、最も体に響く音がお届けできる演目をご用意しました。空気から、床から、他の楽器にはない和太鼓の大きな魅力である”響き”を全身で受け止めて頂きたいと思えます。</p> <p>アンコール CHA CHA CHA 音楽コンサートにおける「アンコール」とは、我々演奏者にとって名誉なことです。子供たちがこの90分のプログラムを受け、自然ともう少し見たいという気持ちを抱いていた場合、それにお答えさせていただく演目です。最後は会場内をたくさん笑顔でお別れとさせていただきます。</p>								
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>M-4 食いしん坊ゲーム(体験) 20分程度の体験・参加型演目です。 前半は、子どもたちに好きな食べ物を置き、それらを音で捉えて和太鼓のリズムに変えます。 その後、リズムを太鼓と手拍子で表現し、演奏者(舞台上参加児童・生徒を含む)と子供たちとの間でコールアンドレスポンスをします。 最後は複数のリズムを組み合わせて、子どもたちの手拍子に志多ら演奏者の楽器演奏を乗せて一つの曲へと完成させます。 過去の学校公演での実績から、定評のあるプログラムを選択いたしました。学年や性別を超えて協働し、子供たちが一つの楽曲を作っていただく良さを見出していただきます。 なお、体験人数に関しては持ち込む太鼓の台数を変更することで調整が可能です。</p>								
<p>出演者</p>	<p>大脇元、福家さくら、澤田龍貴、坂本奏弦、山口凌矢 計5名</p>								
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 5 名</p> <p>スタッフ: 1 名</p> <hr/> <p>合計: 6 名</p>			<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t</p> <p>車長: 6 m</p> <p>台数: 2 台</p>				
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み</p>		<p>無</p>		<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>時間程度</p>		
<p>到着</p>	<p>仕込み</p>		<p>上演</p>		<p>内休憩</p>		<p>撤去</p>		
<p>10:00</p>	<p>10:00～12:00</p>		<p>13:00～14:30</p>		<p>10分</p>		<p>14:30～16:00</p>		
<p>16:00</p>		<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>							
<p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>	<p>10月</p>				
<p>10日</p>	<p>5日</p>		<p>0日</p>		<p>0日</p>				
<p>11月</p>	<p>12月</p>		<p>1月</p>		<p>計</p>		<p>15日</p>		
<p>0日</p>	<p>0日</p>		<p>0日</p>		<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>				
<p>児童・生徒の 参加可能人数</p>	<p>本公演</p>			<p>共演人数目安</p>		<p>16</p>			
				<p>鑑賞人数目安</p>		<p>400</p>			

(図1) 体育館舞台なし



(図2) 体育館舞台あり



体育館を縦方向に使用します。体育館舞台を使用しない場合の舞台設置に必要な最小面積は横11m×縦6mです(図1)。体育館舞台を使用するのは(図2)、大太鼓を用いる場合のみで、例外的に舞台上を使用する場合があります。この場合の必要面積も同様です。なお、感染症対策という観点から多くの学校様に演技スペースと子供たちの最前列の間に2mほどの空間を設けるご要望もいただいております。詳しくはご相談ください。

音響機材は篠笛の演奏とMC、および入退場時の場内BGMに使用するものを持込させていただきます。照明による演出は舞台上に大太鼓を置いた場合のみで、基本的には本番中の暗転なども含めて行いません。

(図4) 体験コーナーの様子



(図5) 演目の様子



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 和太鼓 志多ら 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	80
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>標準:90分</p> <p>①演奏者が登場します(10分) 子供たちとのファーストコンタクトです。集団の紹介を兼ねた演奏を数分実施したのち、個人の紹介を行いワークショップの中身へと進んでいきます。</p> <p>②登場の後、和太鼓という楽器の紹介を行います。(10分) 和太鼓の起源や歴史について、子供たちにもわかりやすい表現で説明します。 例:和太鼓の革って何からできているのかな?3択クイズ 和太鼓の大きさが音はどう変わる?</p> <p>③子供たちに和太鼓に触れていただきます。(20分) 参加している子供たちみんなに太鼓に触れてもらいます。 まずは演奏で使うバチの握り方と構え方から。音の出し方のコツ等交えて解説します。 ※人数が多い場合には交代で実施するなど対応可能です。 休憩(10分)</p> <p>④和太鼓に触れていただきます。(30分) 演奏者が出したリズムを真似して一緒にたたいていただきます。この際和太鼓では口唱歌(くちしょうが)といわれるリズムの口伝方法があり、この技法も体験してもらいます。 それがすんなりできるのであれば、参加者の子供たちの名前をリズムに変えて、いくつかつなげたフレーズをみんなでたたきます。さらに、そのフレーズに志多ら演奏者の伴奏も付け加える形で、即興の1曲として演奏します。参加者の人数が多くなった場合は交代で実施、もしくは手拍子や前述の口唱歌で参加してもらいます。</p> <p>⑤体験後は質問コーナーに移ります。(10分) あらかじめ生徒さんには質問を用意していただき、それに当日お答えします。質問の内容は和太鼓や篠笛などの和楽器に関するものから、日本の民俗芸能、志多らの日常生活についてなど幅広くお答えします。当日の質問ももちろん対応します。</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>和太鼓といえば脇役といったイメージで、「お祭りのやぐらの上でドンドンやってるやつ!」と答えられるお子さんが多くいらっしゃいます。今回のワークショップを通して、楽器としての和太鼓をもっと身近に感じてもらい、同じ学校の仲間たちと楽しい時間を共有できるツールとしても活用していただきたく思います。もともと和太鼓とは“自然や神様と繋がり、人と人のコミュニケーションを図るツールとしても使われてきた”という歴史があります。みんなでリズムを打つことで“息を合わせる”“心を通わせる”ことを体感していただきます。“打てば鳴る”というシンプルが故の楽しさ、故に得られる一体感を実感していただきます。楽器と聞くとはほとんどが洋楽器を想像する方多くなってきているほどに、音楽も多様性の時代ではありますが、世界に誇る日本の伝統楽器として、和太鼓への認識を深め、日本人としての誇らしさを感じていただけるようにしたいとも考えております。</p>		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>			